

## 日本脊椎脊髄病学会 平成 26 年度第 3 回国際委員会議事録

平成 26 年 8 月 29 日 (木) 6 : 30-7 : 30

オークラアクトシティホテル浜松 3F 桜

出席 : 湯川泰紹委員長、松山幸弘担当理事、岩崎幹季委員、大鳥精司委員、金山雅弘委員、川原範夫委員、田中雅人委員、富士武史委員、寒竹司アドバイザー (山口大学)

欠席 : 根尾昌志委員、矢吹省司委員、馬場久敏アドバイザー

### 1. English Poster Session (EPS) および English Poster Award (EPA) の運営について

寒竹司アドバイザー (山口大学) より、次回学術集会から English Poster の演題募集・査読を一般演題と統一する旨の報告があった。EPA の採用、最終選考については従来通り採点をもとに国際委員会で行う。また、海外参加者の居場所を確保するために、同一会場で連続する英語セッションもしくは英語スライドの採用を要請していたが、同一会場での設定は難しく、会場は異なるがどの時間帯でも英語セッションあるいはビデオセッションがあるように対応したいとのことだった。

国際委員会から各国の学会やフェロー訪問先へ、EPA の案内を行う。

### 2. トラベリングフェロー訪問先について

本年度はタイ・バンコクが政情不安定でフェロー側から辞退となり、代替訪問施設として中国 (Dr. Tien)、インドネシア (Dr. Rahyus Salim) と連絡を取ったが調整がつかず、ベトナムで 2 組目を受け入れていただいた。

新規訪問先については、アジアパシフィック (オーストラリア、カナダなど) から広げていく方針に従い、訪問先となる施設・指導医との信頼関係構築に努める方向となった。来年度は、ミャンマー (ヤンゴン大学) Prof. Zaw、オーストラリアの Prof. Freeman から信頼関係構築をすすめていく。

### 3. トラベリングフェローのアワード冠名、予算について

協賛企業名のトラベリングフェローのアワード冠名は残らないこととなった (理事会決定)。また、国際委員会への募金自体が JSSR 予算本体に組み込まれ、減少する見込みであることが松山幸弘担当理事より報告があった。

### 4. トラベリングフェローの相互受け入れについて

Dr. Huang Tsung-Jen 台湾脊椎外科学会会長より、台湾のトラベリングフェローを受け入れてほしいとの要請があった。平成 27 年度より年間 2 名程度の受け入れを検討し、理事会 (2014/5/23) で承認された。期間は 2 週間、滞在費用は台湾脊椎外科学会が負担し、日程は 11 月中を予定している。受け入れ先は、国際委員会委員の施設を中心に 2 地域程度で調整することとなった。

5. 次回 2015JSSR の招待医師候補について

- 韓国の会長（アライアンス）Prof. Ki-Tack Kim (Kyunghee University)
- 台湾の会長（アライアンス）Prof. Huang, Tsung-Jen もしくは彼の推薦の方
- 中国(COA)の会長 Dr. Tian Wei (Beijin Jishuitan Hospital, 2014COA 会長)
- タイの Dr. Wiwat Wajanavisit (Prof. Wichien の後継者、現在の受け入れ担当 Dr)
- ミャンマー（ヤンゴン大学）Prof. Zaw、オーストラリアの Prof. Freeman

6. ビジティングスカラーについて

昨年度はビジティングスカラーへの応募がなかった。今後、フェロー受け入れ先の維持・増加のためにも継続が必要であり、応募者がいない場合には、国際委員会の前委員の先生を中心に推薦していくこととなった。

7. 2015 Spine Across the Sea について

アメリカ側の Faculty の旅費は NASS が負担しており、今後、日本側の Faculty の旅費を JSRS で負担いただけるよう理事会にお願いすることとなった。また、JSSR 会員に対し、Spine Across the Sea についての案内をメールで行うこととなった。

8. 次回委員会の日程

2015 年 1 月 16 日（金）17:00～ 神戸（日本整形外科学会専門医試験期間中）で開催の予定。